

一般質問

質 問 者	飯島英規(無会派)
	人見武男(創志会)
	北川久人(創志会)
	佐藤幸雄(桐新会)
	山之内肇(公明クラブ)
	森山享大(創志会)
	周藤雅彦(フォーラム桐生)
	渡辺修(無会派)
	福島賢一(桐新会)
	西牧秀乗(無会派)
	伏木康雄(無会派)
	小滝芳江(フォーラム桐生)
	井田泰彦(無会派)
	岡部純朗(無会派)

6月25日(火)・26日(水)の2日間にわたり、14人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

シリコンバレー構想

飯島 英規(無会派)

質問 企業誘致ではなく、頭脳を誘致するという考え(群馬大学理工学部)



で、地球環境問題に絞ったシリコンバレーを桐生につくる考えは。

答弁 現在桐生市では、群馬大学理工学部と密接な連携のもと、産学官連携を通じた環境関連の取組みを積極的に推進しているが、世界に誇れる「環境先進都市」として認知されれば、有能な人材や研究機関、環境関連企業等の誘致に期待が広がり、地域産業にも波及効果をもたらすものと考えられる。今後、群馬大学理工学部を核とした産学官連携の中で、研究を深めたい。

市内体育施設の使用料

北川 久人(創志会)

質問 市内のチームが市外のチームと対戦した場合の料金体系の見直しについて。



答弁 現在の料金体系は市内の方に多く使用していただく観点から、市外チームと対戦の場合、市外料金として取り扱っているが、近年、スポーツ環境を取り巻く状況が変化しており、レベルの高いチームと対戦することは、競技力のレベルアップに大きく寄与し、

それが地域のスポーツ振興に果たす役割は大きいものと考えられる。今後、市内料金として取り扱う方向で検討したい。(桐生市民体育館)

梅田台緑地の整備について

人見 武男(創志会)

質問 今後の整備計画は。

答弁 梅田台緑地は桐生川ダムが一望できる高台にあり、四季折々のすばらしい自然景観が眺望でき、梅田地区の観光振興を考えると、整備促進は必要と考えられる。現在、用地取得がほぼ完了し、粗造成が行われ、一部、園路や植栽の整備を行っている。隣接地には地元で植栽したロウバイ(蠟梅)エリアや県のダム周辺整備ゾーンがあり、休憩場所や散策などに利用されている。今後、整備計画や整備手法、利用方法等を、地元や関係者のご意見を伺い、実現に向け検討したい。



(梅田台緑地)

海外販路開拓支援事業

佐藤 幸雄(桐新会)

質問 台湾との今後の交流として、桐生商業高校の生徒を送り込みたいと示しているが、スケジュールは。

企業や高校の選定について協力をいただくことになっており、今後も双方方向での交流に向け、継続的に取り組んでいく。(桐生商業高校)



(桐生商業高校)

答弁 桐生商業高校の研修旅行のスケジュールについては、現在のところ決まっていないが、同校の意向としては、キャリア教育の一環として日本人が働く企業の視察や現地の高校生との交流を考えている。台湾教育部には、計画の実現に向けた情報収集、交流先の

防犯灯のLED化事業

山之内 肇(公明クラブ)

質問 設置主体として責任ある対応をしていくべきと考えるが見解は。

答弁 性能や問題等について研究し、トラブルが発生しないように取り組む。

質問 防犯上、必要性を認識しながら、個々の自治会・町会の財政的理由で設置が難しかった、集落の間や通学路などの問題箇所は市がもっと積極的に関与してメスを入れて欲しい。
今回の事業を契機に管理



(LED防犯灯)

主体を行政に移行していくべきと考えるが見解は。

答弁 管理主体を行政に移行することについては今後の検討課題としたい。

自主財源確保

森山 亨大(創志会)

質問 自主財源を確保するために取り組んでいる事(市庁舎内の自動販売機)



業内容と効果額は。

答弁 自動販売機設置事業者公募入札や、封筒・広報・ホームページへの広告掲載、車両広告、遊園地のネーミングライツなどを実施している。

特に、自動販売機設置事業者公募入札による効果額は、平成二十三年度決算額が千五百九万円、平成二十四年度決算見込額が二千五百五十万円となっており、公募方式でなかった平成二十二年度三十四万九千円と比較すると、大きな効果があったものと認識している。

地域医療

周藤 雅彦(フォーラム桐生)

質問 地域医療充実の観点から、厚生総合病院をどのように考えるか。

答弁 地域の拠点病院としての役割を果たしていけるよう、各種医療機器の整備や人材確保などの支援を行っている。

質問 類似病院では離職率が高い状況にあるが、厚生総合病院における看護師の離職状況と人員確保策は。

答弁 昨年度は十四人が退職し十七人を採用した。



(桐生厚生総合病院)

人員確保策として、看護学校への訪問、看護職員就職ガイダンス及びインターンシップ研修の開催など積極的に取り組んでいる。

国保事業に係る桐生市としての対応

渡辺 修(無党派)

質問 国庫負担金の割合に係る桐生市の対応や要請(桐生市役所)



について。

答弁 各自自治体の財政状況によって差があつてはいけないことから、大きな財源を必要とする事業に対しては、安定財源が確保できるように組織体制にすることが大切であると考えている。

国保事業は大変大きな財源を必要とするため、各自自治体による国保運営ではなく、群馬県一本化にした広域的な形での運営をお願いしているところであり、また、市長会を通して国へ働きかけているところである。

定住化促進条例の制定

福島 賢一(桐新会)

質問 桐生市定住化促進条例制定の考えについて。

答弁 空き家・空きスペースなどの実施や、黒保根町における桐生市過疎地域定住促進条例を制定しているが、人口減少の歯止めには至らないため、昨年五月に桐生市人口減少対策検討委員会を組織し、人口減少に対する施策をまとめた提言書を作成した。現在、人口対策室を中心に全庁体制で施策の具体的な検討を行

(桐生市役所)



い、可能なものから実施するよう指示している。条例制定については、事業の進捗を図る中で検討していきたい。

子宮頸がん予防ワクチン

西牧 秀乗(無党派)

質問 厚生労働省から接種の積極的な勧奨の一時差し控えを行うよう勧告があつたが、対象者への周知は。

答弁 接種の有効性とリスク等について、中学一年生には同省のリーフレットを各学校を通して全員に配付し、既に接種している生徒が多い中学二・三年生には学校の保健だより等で周知するよう依頼した。高校一年生には県から県教育委員会・私学連合会に通知さ

れている。なお、予防接種協力保険医療機関には、桐生市医師会を通じ、同リーフレットを添付して市長名で通知している。

(啓発リーフレット)



黒保根地域の介護福祉

伏木 康雄（無党派）

質問 黒保根地域における介護サービスの現状は。

答弁 同地域には、特別養護老人ホーム「しみずの里」があり、定員五十人に對し五十人の入所があり、待機者は七十人である。同施設は、訪問介護やデイサービス、居宅支援事業所を併設しており、同地域の要介護認定者数と照らし合わせると介護サービスはある程度、網羅されていると思われる。



（黒保根支所）

質問 介護サービス以外の補助施策はあるか。

答弁 無料入浴券の利用できる施設や配食サービス、外出支援サービス等がある。

境野水処理センター

岡部 純朗（無党派）

質問 長寿命化策はどのようなに進んでいるのか。

答弁 平成二十一年度より長寿命化支援制度を利用し、老朽化の著しい汚泥処理施設から詳細調査、耐震診断、計画策定等を実施してきた。また、水処理施設は、調査が広範囲のため詳細調査、耐震診断を部分的に実施してきた。汚泥処理施設と旧事務所、水処理施設及び屋上運動公園の耐震診断を実施した結果、建設



（境野水処理センター）

時の耐震性能は有している。しかし、一部、新しい耐震基準を満たしていないことから、今後の長寿命化支援制度を利用して計画的に耐震対策を行いたい。

売店の出店基準は

小滝 芳江（フォーラム桐生）

質問 桐生が岡遊園地及び動物園の売店はなぜ公募



（桐生が岡遊園地）

による選定でないのか。

答弁 遊園地の基準は、

指定管理者として出店団体を選定しているものである。地産地消の考え方にに基づき、地元ブランド食材をメインにした「食」の提供や、桐生市を代表する「食」を提供しており、販売の実績も有し、広く社会的に認知されている団体を基準に選定している。動物園の基準は、開園当時、桐生が岡公園売店組合及び花山売店組合に加盟していた業者のみ、既得権益を認める形で出店を許可している。

各種委員の選出

【議会の議員】

議会選出の各種委員などについては次のとおりとなりました。

※選出依頼に基づき選出

◇ 桐生地域医療組合議会議員

- 北川 久人
- 井田 泰彦
- 岡部 純朗
- 荒木 恵司

◇ 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員
相沢 崇文

◇ 桐生市農業委員会選任委員

- 森山 享大
- 佐藤 光好



自転車事故防止のために

井田 泰彦（無党派）

質問 自転車保険の助成等の特典付き自転車安全利用講習会の開催について。



（駐輪場）

答弁 自転車は健康面、経済面、環境面から必ずばらしい乗り物だが、交通规则やマナーを守らないと大きな事故を起こす。市民が悲惨な事故に遭わないよう、交通安全施策を進めていく中で検討したい。

質問 子ども自転車運転免許制度を導入し、市内の全小学校で実施してはどうか。

答弁 安全運転の徹底を図るために、今までの交通安全教室の内容が一層充実したものとなるよう関係機関と連携し、研究していきたい。

人事案件

市議会は、次の人事案件一件に同意しました。

【監査委員】

荒木 恵司

（新任）

